



大村市立福重小学校 学校だより

令和4年3月11日(金)

あさひ

文責：校長 田中 康隆

目指す児童像：㊦るさとを愛する子・㊧ふうする子・㊨んせつな子・㊩んきな子

東日本大震災の日に思うこと

2011年3月11日14時46分、東北地方太平洋沖地震により、東日本各地で大きな揺れや、大津波、火災などが発生し、東北地方を中心に12都道府県で約2万人の死者、約2千5百人の行方不明者、約6千人の負傷者が出ました。各地の津波の高さは8～9メートルを超えるもので、その数値から改めて被害の大きさを感じるところです。また、震災後も私たちの生活に不可欠な電気・ガス・水道・通信などのライフラインが止まり、非常に不自由な生活を強いられたそうです。

被害の大きかった岩手県釜石市のある中学校の生徒は、学校で学習したことをもとに「高いところに逃げよう」と小学生の手を引いて避難し、ほぼ全員が助かったのだそうです。本校でも、今年度は「学校安全総合支援事業」の指定を受けて子供たちに災害の恐ろしさ、備えることの大切さを伝え、備えになる知識・技能・判断力の育成に努めてきました。また、自分の住んでいる地域の特徴について知る機会も設けました。その中で子供たちは、公助（公的機関にしてもらうこと）だけでなく、自助（自分でできること）・共助（助け合えること）についても学びを深めています。

非常時だけでなく、普段からみんなで助け合う力がさらに身に付いてくれるよう、これからも取り組んでいきます。

図書室の引っ越し準備を進めています

福重地区の宅地化が進み、本校でも児童数の増加が始まっています。来年度の新1年生は77名、3学級（3月7日現在）の予定で、教室数が不足しているのが現状です。そこで、仮設校舎を建て、現在の図書室を移動し、現図書室を子供たちの教室として使用する計画を立てています。仮設校舎の建設に伴う工事車両の出入りなど、様々な面でご迷惑おかけしますが、ご理解をお願いします。



また、図書室の蔵書引っ越しにともなう箱詰め作業においては、図書ボランティアの方々にご協力いただき非常に助かっています。お忙しい中、ありがとうございます。

祝福重小150周年 その6

久しぶりになります…

第6回目、今回は「現在の場所への移転」についてです。

1944年11月21日、空襲で校舎1棟が破壊されました。その後、校地が軍用地（福重飛行場滑走路用地）になったため、学校敷地は今の場所に移転することになりました。

しかし、1945年、この後の空襲が激しくなり、部落別に公会堂、神社などに分かれて疎開授業が行われていたそうです。

詳しいことを知りたい方は、上野さんのHP「福重ホームページ（下記アドレス）」をご覧ください。<http://fukushige.info/index.html>